

2022年度 入学試験問題 (第2回 A)

国語

注意事項

1. 試験時間は 50 分間です。
2. 問題は 1 ページから 9 ページまであります。
3. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

帝京八王子中学校

【二】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

誰でもおそらく中学生、高校生の頃に「自分」を発見する。と同時に、その反対側にある「①世界」と出会う。自分を包み込んでいるもつと大きな世界。自分の中で生きている社会環境としての世界。あるいは人によっては自然環境としての世界かもしれない。

いずれにせよ、中学生、高校生の頃に、「自分」のまわりには「世界」というものがあるのだ、という感^{かん}触^{しよく}を初めて本当に知ることになるのだと思う。それまでは生まれ育った「家」に守られていて、自分が無防備な状態で世界に直面しているという実感はない。

自分を発見すること。世界と出会うこと。この二つは表裏^{ひょうり}一体^{いつたい}の出来事だ。世界と出会うことによって改めて自分を発見しなおす、と言ってもよい。

「世界と出会う」とは、もう少し詳しく言うと「自分にとって手も②も出ないような、人間のスケールを超^こえた、ある大きな力と出会う」ことだ。そういう経験がきつと皆さんにもあると思う。まだないという人も、近いうちにきつとある。「大きな力」とは何なのか、人によって違うだろうが、それに出会う瞬間^{しゆんかん}は必ず訪れるにちがいない。

A、自分の狭^{せま}い殻^{から}に閉じこもっているのは、③そういう機会が訪れても気づくことができない。だから、自分をバリアで囲い込むのではなく、何か大きな力と出会う機会に向けて、常に自分を開いてほしい。

「自分」はつねに「世界」のさまざまな波打ち際と接している。その波打ち際はいつも近くにある。それに向けて自分を開いておく。開く勇氣を持つ。

たしかに、大きな津波が来たらどうするか。逃げられないではないか。とすると「世界の波打ち際に向けて自分を開く」のは一見、怖いこと、危険なことのように思えるかもしれない。

でも、そうではない。

東日本大震災の大津波では、防波堤を④人工的に築^{きず}いても役にたたないことがわかった。でもそれはコンクリートの防波堤を超える高さ^{いたりよ}と威力の津波が来たからで、もっと高くで強固な防波堤を築くべきだ、という判断がいまだにある。けれども、本当にそうだろうか？ そんな教訓でよいのだろうか？

私たちは海という巨大な謎^{なぞ}の世界と、自分たちが住んでいる見知った街を、⑤防波堤という境界で分断してしまった。B、バリアを築いて自分たちを囲い込んでしまった。そう考えてみてはどうだろう。

かつて海辺で暮らしていた人々は、海を通じて世界と対面していた。海の色、潮の匂い、波の音や高さ。これらはすべて情報の※アーカイブだった。それを読み解けば、天候がどんなふうに変化するか、いつ、どのくらいの大きさの波が来るかがわかった。つまり海という巨大な謎の世界からのシグナルをキャッチできた。それは長い時間のなかで知らず知らずに身についた知恵だ。

ところが、海と人との間に巨大なコンクリートの壁を築いたらどうなるか。そうした自然がもたらす情報は遮断しやだんされてしまう。人間が⑥海と対話するこ
とができなくなってしまう。天候の変化も、津波の危険性も察知できない。やがて海からのシグナルをキャッチする感受性は失われていく。人は生きるた
めの大切な知恵の一つを捨ててしまったのだ。

C 皆さんに言いたい。自分を開くのは決して無防備な仕草ではない。外の世界から発信されているさまざまな信号や情報を全身で受け止める。それ
は、自然に向けても社会に向けても自己を開放し、対話することなのだ。⑦その行動を恐れてはいけない。

(今福龍太「学問の殻を破る」より)

※出題の都合上、一部表記を改めた箇所かしよがあります。

【語注】

※アーカイブ……複数のファイルを一つにまとめること。あるいはまとめたファイル。

問1 **A** **C** にあてはまる言葉として適切なものを、次のア～エの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア しかし イ また ウ だから エ つまり

問2 線①「世界」を言いかえた言葉を本文中から五字以内でぬき出しなさい。

問3 ②に入る適切な語を漢字一字で答えなさい。

問4 線③「そういう機会」とはどのような機会ですか。本文中の言葉を使って答えなさい。

問5 — 線④「人工」の対義語を本文中からぬき出しなさい。

問6 — 線⑤「防波堤という境界で分断」について、次の(i)、(ii)の間に答えなさい。

(i) 「防波堤という境界で分断」を言いかえた言葉を本文中から十一字でぬき出しなさい。

(ii) 「防波堤という境界で分断」と、どのようなことになってしまうのですか。本文中から二十字以内でぬき出しなさい。

問7 — 線⑥「海と対話すること」とは、どういうことか答えなさい。

問8 — 線⑦「その行動」とは何ですか。本文中の言葉を使って三十字以内で答えなさい。

問9 次のア～オのうち、本文の内容と合うものには○、間違っているものには×をそれぞれ書きなさい。

ア ある大きな力と出会うことで、「自分」を発見することができる。

イ 「世界」と出会うことは危険であり、防波堤を築くことが必要だ。

ウ 人々が生きていくためにはより強くて、丈夫な防波堤が必要だ。

エ 人間は自然からの情報をキャッチする力を自ら捨てているようなものだ。

オ 自然に対して自分を開くことで、世界とよりよい関係を築いていけるのだ。

【三】次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

百人一首を全部暗記している、と得意そうに宣言した少女に対し、周囲の生徒がすげー、うそーつ、と驚嘆きょうたんの声を上げるのを、光紀みつりは **A** とした顔で不思議そうに見回していた。

彼は小学校四年生の後半を迎えようとしていたが、既に江戸時代までのほとんどの日本の古典を暗記していたからである。彼の家ではそれが当たり前だったのだ、彼は周りのみんなもそうであると信じていたのだ。だが、ここに引越してきた時、なぜか両親に①そのことはくれぐれも周囲には黙だまっているように、と固く言い渡されていたのである。

「ねーつ、どうして黙だまってなきゃいけないの」

家に帰かえって玄関に飛び込むなり、彼はランドセルを背負ふったまま家の中に向かって不満そうに叫さけんだ。

「何よ、いきなり」

もう先に帰かえって②「茜あかね」に向かつていた姉の記実子きみこが、襖ふすまをあけて廊下ろうかに上半身を乗り出し、ジロリと光紀を睨にらみつける。その恐ろしい視線に光紀は一瞬たじろいだいっしんが、たどたどしく③学校での出来事を説明した。

「バカねあんた、殺されるわよ」

記実子は冷たい流し目で光紀を見下ろした。

「え、どうして？ あの子はあんなに褒められてたのに」

ちやほやされ、顔を④上じやうき気きさせていた少女の顔を思い浮かべながら④光紀が反論する。

「だからって、学校で平家物語を全文暗誦あんしやうしてみせるってのはやめてよね。あのねえ、ニッポンはミンシユシユギの国なの。ミンシユシユギということ

は、つまりい、他の人よりも余計よけいなものは持つてちゃいけないってことなの。分かる？」

光紀にはチンパンカンパンである。
「お父さんとお母さんは絶対内緒ないしょにしときなさいって言ってたでしょ、もう忘れたの。ここは常野とくのじゃないのよ。さ、そっちの部屋にシュークリーム買かっているからそれ食べてよ。あたしは今週中にこれ、⑤しまっっちゃう予定なんだから」

長い真っ黒な髪を **B** と翻して身体をひっ込めると、記実子は襖を **C** と閉めてしまった。中学一年の姉は、今シエキスピアに凝っている。最初は日本語訳を片っ端から『しまつて』いたが、だんだんそれではあきたらなくなり、最近ではついにオリジナルで『しまい』始めたのだ。

光紀はまだ納得しない表情であつたが、家になると帽子を脱ぎ、手を洗うとシュークリームにかぶりついたまま「ヒロシ」の前に **D** と座った。

「ヒロシ」は桜の木でできた美しい書見台だ。春田家では、子供が生まれると真っ先に書見台を拵えるのである。それらは子供たちに生涯連れ添うものなので、一つ一つ趣向をこらして、精魂込めて作られる。常野にある春田家の倉庫には、何代にも亘つて先祖たちが作った素晴らしいデザインの書見台が大事に保管してあるのだ。

光紀はクリームのついた指を舐めながら、書見台の上に広げてある譜面に没頭した。

光紀が順調に日本の古典を『しまえる』ようになると、「じゃあ、これはどうだ。『しまえる』か？」と、^⑥ある日こっそり父の貴世誌が持ってきたのは、なんと歌の譜面であつた。首をかしげる光紀に、父は楽譜の読み方を教え、ピアノを鳴らして音を教えた。さらにレコードを聴かせ、コードを教え、何度かコンサートに連れていき、「これでどうだ？」と尋ねると、初めて光紀は **E** と頷いた。

彼がたちまちオーケストラのスコアを読めるようになり、瞬く間にそれらを『しまう』を見て、父は大変喜んだ。

「これで光紀は指揮者にだってなれるぞ」

父は、何十年も前にヨーロッパに渡って、スクーターで大陸を横断しながら指揮者を目指した日本人青年の話をした。圧巻は、彼が世界的なコンクールの前に、限られた時間で必死に課題曲であるオーケストラのスコアを暗譜していくシーンである。彼は覚えただけの曲を指揮し、しかもその指揮中に団員がわざと間違えた箇所をあとで指摘しなければならないのだ。時間は刻々と過ぎてゆく。青年はすさまじい集中力で譜面を覚えこむ。

いよいよコンクール当日。父は何度もこのシーンを話してくれた。その時の父の目は熱を帯び、きらきらと輝き、聞いている光紀にも会場の歓声が聞こえてくるようだった。青年は見事な曲想で指揮し、誤りも全て見つけだし、将来を嘱望される指揮者として優勝する。彼の名は、※小澤征爾。

指揮者もいいなあ。そう思いながら、朝食の席でメンデルスゾーンを口ずさむ光紀を見て、母の里子はきつと父を睨みつけると、おたまを持ったまま仁王立ちになった。

「あなた、自分の趣味に光紀を引きずりこまないで下さいねっ」

「同好の士は多いほどこいいからな」

父は新聞に顔を隠したまま澄ましたものである。

光紀が夢中になつて※ホルストの『惑星』を『しまつて』いると、父と母が帰つてきた。

「あー疲れた」

今日もへとへとだ。毎日誰かに会いに出かけているか、必ずうちに誰か来て熱心に話しこんでいる。ここに来てからというものの、ほとんど両親と話をしていないような気がする。常野にいる時はこんなではなかった。毎日、二人でかわるがわる、彼が『しまつて』いる物語について熱心に教えてくれた。光紀は面白くなかつた。毎日、今日こそ不満を訴えてやろうと思つてゐるのに、あまりに父と母が（い）憔悴してゐるので、顔を見ると言い出せないのだ。

「お帰りなさい。お風呂沸かしといた」

「ありがと、記実ちゃん。助かるわー。すぐ御飯にするからね」

姉が大人びた声で母と話をしているのが耳に入り、⑦光紀はますます面白くない。

「光紀ー、めし作るぞー」

父の声で光紀はしぶしぶ部屋を出る。

「どうだ、光紀、今度の学校慣れたか」

割烹着を手早くつけながら、父が話しかける。

いつもなら、飛びついていろいろな話をするのだが、今日は細身でひよろ長い割烹着姿の父が恨めしく見える。お父さんは、僕がみんなに褒められるのが嫌なんだろうか？

「どうした、誰かにいじめられたか？」

堅い表情の光紀を見とがめて、父が身体を曲げて顔を覗きこもうとしたので、光紀は顔をそむけた。

「僕、ちよつと『しまつて』くる」

ぱたぱたと部屋に駆け込み、襖を閉めた光紀の後ろ姿を見送り、三人は顔を見合わせた。

「どうしたんだ、光紀は」

貴世誌が記実子の顔を見ると、記実子は肩をすくめて光紀の話を伝えた。

「そうかー、自慢したい年ごろかもなあ」

貴世誌は溶き芥子をぺろりと舐めて、顔をしかめた。

「最近、ちよつと変だね、光紀は」

里子がゴリゴリと胡麻をすりながら小さく呟いた。

(恩田陸「光の帝国 常野物語」より)

※出題の都合上、一部表記を改めた箇所があります。

〔語注〕

※小澤征爾……日本の指揮者。ウィーン国立歌劇場音楽監督を務めたこともある世界的な指揮者である。

※ホルスト……イギリスの作曲家。最も知られた作品は、管弦楽のための組曲『惑星』であるが、全般的に合唱のための曲を多く遺している。

問1 **A** **E** にあてはまる言葉として適切なものを、次のア～カの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア きよとん イ こくん ウ がらん エ ぱたん オ くるり カ ぺたん

問2 ――線(あ)・(い)の言葉の本文中での意味として最も適切なものを、後のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(あ) 上気させて

(い) 憔悴

ア はずかしくてうつむくこと

イ 得意げになっていること

ウ のぼせて顔がほてること

エ うれしくて笑顔になること

ア 疲労などのためにやせ衰えること

イ いそがしくて怒りっぽくなること

ウ わけもわからずにあせっていること

エ 気分良く話がはずんでいること

問3 ――線①「そのこと」とは何を指しますか。「くこと」という言葉に続くように、本文中から二十五字以内でぬき出しなさい。

問4 ――線②「『茜』に向かっていた」とありますが、「茜」とは何のことですか。

問5 ――線③「学校での出来事」の内容を本文中の言葉を使って三十五字以内で答えなさい。

問6 ――線④「光紀が反論する」とありますが、この時の光紀の心情としてもっとも適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 百人一首を暗記している少女を見て、自分も早く百人一首をすべて覚えて披露ひろうしないといけないとあせる気持ち。

イ 百人一首を暗記しただけで褒められている少女を見て、今まで多くの知識を身につけてきた自分がばかしく思える気持ち。

ウ 自分の方が多くの知識を持っているのに、百人一首を覚えていてだけで自慢している少女を見て、不公平に思う気持ち。

エ 自分は多くの知識を持っているので、百人一首を覚えてだけで自慢して、褒められている少女を情けなく思う気持ち。

問7 ――線⑤「しまっちゃう」とありますが、この文章での「しまう」とはどういう意味か答えなさい。

問8 ――線⑥「ある日こっそり父の貴世誌が持ってきたのは、なんと歌の譜面であった」とありますが、父のどのような考えが読み取れますか。

問9 ――線⑦「光紀はますます面白くない」とありますが、それはなぜですか。理由としてもっとも適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 光紀は父と母を気づかって自分の不満を話せないでいるのに、父がご飯作りの手伝いをさせようとしてくるから。

イ 光紀は自分の不満を話したいのに、毎日のように誰かが来て父や母と話をしていて、まったく話す時間がないから。

ウ 光紀は自分の知識を学校で自慢したくてもできないのに、記実子がお風呂を沸かしたことを得意げに話しているから。

エ 父と母が疲れている様子を見て、光紀は自分の不満を話せないでいるのに、記実子と母が楽しそうに話しているから。

二〇二二年度 入学試験問題

國語

氏名

う	ねる
---	----

問
1

問
1

[illegible]

点

帝京八王子中学校

二〇二三年度 入学試験問題

解答用紙（第二回A）

国語

受験番号

氏名

模範解答

一		各2点	
⑥	往 来	⑦	提 案
⑧	単 独	⑨	劇 薬
⑩	奮 っ	⑪	う
①	きよしゆう	②	きしよく
③	なつとく	④	じゅうだん
⑤	ゆだねる		

二		各2点	
問 1	A		
	ア		
	B		
	エ		
	C		
	ウ		

3点	3点	3点	3点	3点	3点	3点	3点
問 2	大きな力	足	大きな力	大きな力	大きな力	大きな力	大きな力
問 3							
問 4	大きな力（世界）と出会う機会						
問 5	自然						

4点	5点	5点	5点	5点	5点	5点	5点
問 6	ii	i	自然がもたらす情報は遮断されてしまう	自然がもたらす情報は遮断されてしまう	自然がもたらす情報は遮断されてしまう	自然がもたらす情報は遮断されてしまう	自然がもたらす情報は遮断されてしまう
	自分をバリアで囲い込む						
問 7	海という巨大な謎の世界からのシグナルをキャッチすること。						
問 8	己を開放し、対話すること。						

3点	3点	3点	3点	3点	3点	3点	3点
問 9	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
問 10	己を開放し、対話すること。						
問 11	自然に向いても社会に向いても自然に向いても						
問 12	己を開放し、対話すること。						

各1点	各1点	各1点	各1点	各1点	各1点	各1点	各1点
問 9	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
問 10	己を開放し、対話すること。						
問 11	自然に向いても社会に向いても自然に向いても						
問 12	己を開放し、対話すること。						

各2点	各2点	各2点	各2点	各2点	各2点	各2点	各2点
問 1	A	B	C	D	E	F	G
問 2	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
問 3	江戸時代までのほとんどの日本の古典を暗記していたこと						
問 4	記実子の書見台						

5点	5点	5点	5点	5点	5点	5点	5点
問 5	百人一首を全部暗記しているという少女を、周の生徒が褒めていたこと。						
問 6	ウ						
問 7	暗記する、覚える						
問 8	音楽の趣味に引きずり込み、光紀を指揮者にしようと						

3点	3点	3点	3点	3点	3点	3点	3点
問 9	エ						
問 10	己を開放し、対話すること。						
問 11	自然に向いても社会に向いても自然に向いても						
問 12	己を開放し、対話すること。						

点

2022 年度 入学試験問題（第 2 回 A）

算 数

注 意 事 項

1. 試験時間は 50 分間です。
2. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

帝京八王子中学校

1 次の にあてはまる数を入れなさい。

$$(1) \frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{8} + \frac{1}{16} + \frac{1}{32} = \boxed{}$$

$$(2) \left(1 - \frac{1}{4}\right) \div \frac{1}{8} + \left(2 - \frac{1}{7}\right) \div \frac{1}{14} = \boxed{}$$

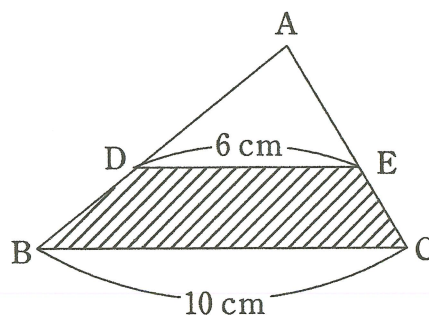
$$(3) 2\frac{3}{8} - 2\frac{1}{16} + 1\frac{4}{5} = \boxed{}$$

$$(4) (\boxed{} - 21) \times \frac{1}{3} = \frac{1}{4} \times (\boxed{} - 20)$$

<計算らん>

2 次の にあてはまる数を入れなさい。

- (1) たて 20 cm、横 30 cm、高さ 40 cm の直方体の体積は L です。
- (2) 0, 3, 8, 15, , 35, ... はある規則にしたがって数字が並んでいます。
- (3) 7 で割ると 2 余り、9 で割ると 1 余るような 3 けたで最も小さい数は です。
- (4) 今日の日付が 日のとき、1 週間前と 1 週間後、昨日と今日と明日の 5 日分の日付を足すとちょうど 100 になります。ただし、月はまたがないこととします。
- (5) T さんが 6 才で父が 36 才のとき、 年後に父の年令が T さんの年令のちょうど 3 倍になります。
- (6) 下の図の斜線部分の面積は cm^2 になります。ただし、三角形 ABC の面積は 40 cm^2 、線分 BC と線分 DE は平行とします。



<計算らん>

3 4%の食塩水 A とある濃度の食塩水 B があります。次の問いに答えなさい。

- (1) 食塩水 B に水 100 g を加えると、3%の食塩水 250 g ができました。食塩水 B の濃度は何%ですか。
- (2) 食塩水 A 200 g を加熱して、40 g 蒸発させると、何%の食塩水ができますか。

<計算らん>

4 0から5までの整数が書かれたカード6枚の中から3枚選び、並べて3けたの整数を作ります。次の問いに答えなさい。

(1) 奇数は全部で何個作れますか。

(2) 偶数は全部で何個作れますか。

(3) 320より小さい整数は全部で何個作れますか。

<計算らん>

5 帝八君のお兄さんが通っている中学校は、7月20日から8月31日まで夏休みです。次の問いに答えなさい。

- (1) この中学校の夏休みは何日間ありますか。
- (2) 7月20日が火曜日だった場合、8月31日は何曜日ですか。
- (3) 夏休み期間中に日曜日は何日ありますか。

<計算らん>

- 6 ある船が川を 24 km 上るのに 4 時間、20 km 下るのに 2 時間かかりました。次の問いに答えなさい。

- (1) この船自体の速さは時速何 km ですか。
- (2) 川の流れの速さは時速何 km ですか。

<計算らん>

帝京八王子中学校

2022年度入学試験問題
解答用紙（第2回A）

算数

受験
番号

氏
名

1	(1)		(2)		(3)		(4)	
---	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

2	(1)	L	(2)		(3)		(4)	日
	(5)	年後	(6)	cm ²				

3	(1)	%	(2)	%
---	-----	---	-----	---

4	(1)	個	(2)	個	(3)	個
---	-----	---	-----	---	-----	---

5	(1)	日間	(2)	曜日	(3)	日
---	-----	----	-----	----	-----	---

6	(1)	時速	km	(2)	時速	km
---	-----	----	----	-----	----	----

得 点	
	点

帝京八王子中学校

2022年度入学試験問題
解答用紙 (第2回A)

算数	受験番号		氏名	模範解答

1	(1)	$\frac{31}{32}$	(2)	32	(3)	$2\frac{9}{80}$	(4)	24
---	-----	-----------------	-----	----	-----	-----------------	-----	----

(0.96875)

($\frac{169}{80}$ 詐は 2.1125)

2	(1)	24	L	(2)	24	(3)	100	(4)	20	日
	(5)	9	年後	(6)	25.6	cm ²				

3	(1)	5	%	(2)	5	%
---	-----	---	---	-----	---	---

4	(1)	48	個	(2)	52	個	(3)	48	個
---	-----	----	---	-----	----	---	-----	----	---

5	(1)	43	日間	(2)	火	曜日	(3)	6	日
---	-----	----	----	-----	---	----	-----	---	---

6	(1)	時速 8	km	(2)	時速 2	km
---	-----	------	----	-----	------	----

得点	
点	点

帝京八王子中学校

2022年度入学試験問題
解答用紙 (第2回A)

算数	受験番号		氏名	模範解答

1	(1)	$\frac{31}{32}$	(2)	32	(3)	$2\frac{9}{80}$	(4)	24
---	-----	-----------------	-----	----	-----	-----------------	-----	----

(0.96875)

($\frac{169}{80}$ 詐は 2.1125)

2	(1)	24	L	(2)	24	(3)	100	(4)	20	日
	(5)	9	年後	(6)	25.6	cm ²				

3	(1)	5	%	(2)	5	%
---	-----	---	---	-----	---	---

4	(1)	48	個	(2)	52	個	(3)	48	個
---	-----	----	---	-----	----	---	-----	----	---

5	(1)	43	日間	(2)	火	曜日	(3)	6	日
---	-----	----	----	-----	---	----	-----	---	---

6	(1)	時速 8	km	(2)	時速 2	km
---	-----	------	----	-----	------	----

得	
点	点